

平成 30 年 3 月吉日

医療被ばく最適化推進委員会の委員募集について

会員各位

公益社団法人 神奈川県放射線技師会
会長 大内 幸敏
理事 渡邊 浩

世界的に放射線診療に伴う医療被ばくのお最適化が課題になっております。また、平成 23 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原発事故は国民の放射線被ばくに対する関心を一層高めました。このような中、放射線診療に係るすべての学会、団体等で構成される J-RIME（医療被ばく情報ネットワーク）が All-Japan による診断参考レベルを平成 27 年 6 月に提示しました。この機会に改めて医療被ばくのお最適化を行うことが診療放射線技師の責務です。そのため、本会は平成 27 年度より医療被ばく最適化推進委員会を設置し、県内の医療機関の 70%以上の施設で放射線検査による線量評価が実施されるとともに最適化されている状況を作ること为目标に活動を開始しました。この活動の標語を“KANAGAWA70”と表しています。平成 27 年度に一般撮影、平成 28 年度に CT の線量調査等を行いました。平成 30 年度は IVR の線量調査を行う予定で平成 31 年度以降も目标達成に向けて様々な活動を行うこととしています。

主な委員会活動は下記のとおりです。

- 1) 一般撮影、CT、IVR 等の放射線検査による線量調査
- 2) 医療被ばくのお最適化因子や認知度等の調査
- 3) 調査結果の論文化ならびに論文を書くためのスキル習得
- 4) 調査（研究）の計画書作成、倫理委員会申請等のスキル習得
- 5) その他、医療被ばく最適化ならびに会員のスキルアップに係る活動

そこで、医療被ばく最適化推進委員会の委員を本会会員から追加募集いたします。本活動は国民（神奈川県民）の医療被ばく低減に係るもので公益性の高い事業でもありますので皆様の応募をお待ち申し上げております。

記

1. 委員会名 : 医療被ばく最適化推進委員会
2. 募集委員数 : 若干名
3. 募集期間 : 平成 30 年 4 月 2 日（月）～4 月末日
4. 応募方法 : 本会事務局メールアドレス（HP に記載）にメール本文に氏名、施設・部署名、本会会員番号、連絡用メールアドレスならびに委員に応募する旨を記載して送信ください。応募された方には担当理事より必ず返信いたします。応募して 1 週間を

経過しても返信がない場合は事務局に電話でお問い合わせください。現在、非会員であっても平成 30 年度に入会いただければ応募することができます。また、応募の際には事前に技師長（上司）の許可を得てください。

・本会 HP アドレス : <http://kart21.jp/>

5. 会議は年 5～6 回程度を見込んでおり、施設の勤務時間外（平日の夕方若しくは土日）を原則とします。病院業務を優先していただいて結構ですので必ずしもすべての会議に出席いただかなくても結構です。できるだけ皆様の負担にならないように活動する予定ですので希望がありましたら遠慮なくご相談ください。